平成 29 年度北海道真駒内養護学校　第３回学校評議員会　記録

1.　日　時：平成 30 年２月 28 日（水）　１３：３０～１５：００
2.　場　所：小・中学部会議室
3.　参加者：戸　倉　　聡　様
　　堀　内　紀久美　様
4.　内　容：
　〇動画による授業参観（柏木教頭）
　〇今年度の総括（校長）
　〇平成 29 年度学校評価（佐橋副校長）

【授業参観と感想】
委員
　準ずる教育課程の授業の様子や内容に小学校以上のものを感じた。以前（の在籍状況）はどうだったのか→昔はもっと在籍していた。今は地域の小中学校へ通う場合が多いと思われる。（校長）
委員
　準ずる課程の集団学習の機会を考えると、今後も地域学習の必要性が大きくなる。
【学校評価】
委員
　これまでと異なる評価になっており、細かな分析とともにテーマに沿った評価がなされている。
　「自信がない」「不安」を口に出せる事がいいことであり、「これでいいのかな」と人と話すことによって、みんなで何とかしようという事につながる。

委員
　「協働」の際の責任の所在は、チームで対応する医療分野でも話題になる事。日頃から人の分野には口出しはしない状況もあり、支援は求めてくるものである。
　評価の数値を出したときに、どう読み取るかが大切。
【感想・質疑】
委員
　紙袋のシールを真駒内に依頼し、納品時に授業参観ができた。もっと地域交流として連携できればよいと考える。
　呼称について、「学校として」「教師として」あるべきルール作りが必要である。
　センター的機能としての変容はあるのか→自立活動教諭の派遣を中心に、ニーズがあれば支援会議の開催をしている。個別の教育支援計画を活用した外とのつながりが一般的になってきている。（校長）
【閉会】校長
　次年度「学校教育目標」についても見直しを考えている。今の環境や社会と照らし、目指すものになっているのか、保護者の思いに寄り添っているものかを検討する。